

■まちサポからのお知らせ

まちサポ、オンラインサロン始めました。



「気軽に、ときに深く、ざっくばらんなおしゃべりの場」をコンセプトに、月に1回のペースでオンラインサロンを開催します。みなさんと一緒につくる語り合いの場。オンラインならではのコミュニケーションも一緒に楽しみましょう。

トークテーマは随時募集中です。「こんなテーマで話したい!」「活動の悩み、誰かに聞いてほしい!」など、いつでもまちサポまでご提案ください。

先駆けて、9月12日(日)に開催したまちサポオンラインサロンVol.1では、「高齢者の共助」をテーマに、7名の方にご参加いただきました。次回もお楽しみに!

次回予告 まちサポオンラインサロンVol.2 10月15日(金) ※申し込みは10/1(金)から。

トークテーマ「ボランティア、きっかけトーク!～シニア世代編～」(仮)

地域活動やボランティア活動は色々な始め方、関わり方があります。あなたが活動を始めたきっかけ話や活動の魅力を語り合いましょう。また、これから地域で何か始めてみたいけれど、一歩が踏み出せない…という方もご参加ください。自分の思いを自由に語り合うことで、地域で生き生きと暮らすためのヒントが見えてくるかもしれません。

■登録団体のイベント情報(9月～11月)

イベント名	日時・場所・詳細	主催団体・申し込み
初心者向け 将棋・囲碁教室	将棋 10/8(金), 11/19(金) 囲碁 9/28(火), 10/29(金), 11/26(金) いずれも14時～16時 会場 保健福祉センター3階団体活動室(3)	高齢者クラブ連合会【主催】 事務局 047-497-3484(石田) 【共催】ひよこ児童公園の環境を守り地域協力を促進する会
ひと・まちカフェ 「大切な命を生きる」 ～あっちゃんと語る 「被爆の記憶」～	10/9(土)14時～16時30分 参加無料 会場 公民センターレクホール 対象 地域活動を行っている、または行おうとしている方 30名【申し込みは要予約】	NPO法人sketch倶楽部 sketchclub.shiroi@gmail.com 090-1775-0567(石垣)
オンライン 家事家計講習会	11/6(土) 内容「子どものこと 家計のこと」 11/11(木)「バランスのよい食事 家計のこと」 いずれも10時～11時 参加費200円 デジタル資料つき	千葉ニュータウン友の会 047-491-8120(西保木)

まちサポ通信 VOL.19 発行日 令和3年9月15日
発行元: しろい市民まちづくりサポートセンター
住所: 白井市復1123 白井市役所 東庁舎1F
TEL: 047-401-3729 (直通) 祝日のみ休館
MAIL: machisapo@city.shiroi.chiba.jp



まちサポFacebook
市民活動の最新情報・まちサポの
企画や日々の出来事を発信中です。



FB しろい市民まちづくりサポートセンター

検索

つなぐ
ひろげる
みんなの



通信Vol.19

しろい市民まちづくりサポートセンター通信 2021.9.15 VOL.19

白井市で活躍する市民活動団体の情報や、コミュニティ活動に役立つまちサポのイベントやセミナーについて奇数月に発信しています。

トピック

- ・まちサポ通信座談会～高齢者への支援・贈り物～
- ・出張レポート ハートの会
- ・まちサポ企画・登録団体イベント情報

座談会にご参加いただいた皆さんとまちサポスタッフ



「ひとり暮らしの高齢者へ贈り物を…」

シニア世代のための健康講座、介護予防推進活動、高齢者クラブやサロン運営など、白井には高齢者の生きがい・居場所づくりや生活のサポートに尽力しているさまざまなボランティア・市民活動団体があります。まちサポ通信座談会、今回は「ほっ」と心が温かくなるような『贈り物』を届け続けている団体や、長い間、地域の福祉活動に関わっている方々にお声掛けし、活動への思いを語り合う場を持ちました。

地域で活動を始めたきっかけや、やりがいを聞くことで、これからの高齢者福祉を支える輪を広げていくためのヒントが見えてきました。(内容は次ページへ)

まちサポ通信座談会 ひとり暮らしの高齢者へ 支援・贈り物を 届ける団体



いけばなボランティア
アイリス
大野さん

◇活動のきっかけ

立ち上げたのは、富士センターで主婦向け、子ども向けのお花の教室をやっていた加藤さん。主婦向けの教室に参加した際に、私はそこで加藤さんと出会いました。アイリスの会員は、みなさん優しく心が一つになりますし、楽しみながら集まってテーブル花を作ることを喜んでくれているので、続けることができています。社会福祉協議会から高齢者の一人暮らしの方へ、手作りのお弁当を届ける際に、テーブル花をプレゼントとして添えてくださり喜ばれているようで、会員の励みになっています。



富士センターに集まり、生け花を作成している様子



ほおじろの会
河村さん

◇活動のきっかけ

平成8年からボランティア連絡協議会に入らせていただき、75歳以上の独居の方や障がいの



ほおじろの会作成 季節に合わせた絵葉書を。

ある方に声掛けをして、絵手紙をお出ししています。絵画、折り紙や新聞紙を使い貼り絵や押し花と、様々です。目下コロナ禍で活動も儘りませんが、何とか2~3人で作成しています。着いたハガキを大切に保管して下さったり、返事をいただいたりすると、有り難く励みにもなります。地道な活動をしているボランティア団体にも光をあてて情報発信をして頂けると、活力の源になると期待しています。



民生委員などの
地域活動をしている
福岡さん

◇活動のきっかけ

子どもが小さいころから、PTAなど子どもを通しての地域活動がきっかけです。イベントの司会など様々なところから声をかけてもらい、23年前ごろから今の活動をしています。元気なうちはボランティア活動を続けたいと思っています。活動を通じて地域の方々とお知り合いになれたことは自分にとって大きいことだと思っています。人のためは、自分のため。自分のためは、自分のため。自分に返ってきます。7~8割は楽しく活動をしています。

「大変ね～」と言ってくれる方も多いたのですが「好きだから、大丈夫なんですよ～」と話しています。



白井市社会福祉協議会
市村さん
実松さん

利用者さんからの声として、「アイリスさんが作ってくれるテーブル花の牛乳パックの受け皿をずっと大切に持っていて、季節を感じることができてうれしいです。」と言っていただいています。お弁当を作ってくださいるみなさんや様々なボランティアをしてくださっているみなさんの力に感謝しています。現在は、コロナ禍のため市販のお菓子とアイリスさんのテーブル花を届けています。ふれあい食事は6月・11月・3月の年3回。80歳以上のひとり暮らしの方が対象です。地域の輪として広がってほしいと思っています。



コロナ禍のため、現在ふれあい食事は開催していないが、お菓子といけばなボランティアアイリス作成の卓上花を届けている。(社会福祉協議会)

◇座談会を終えて◇

「自分のため」「楽しみながら」そんな心の輪が地域の力になることが、とても素敵なことだと思いました。市民活動、ボランティア、さまざまな地域活動と行政が今後も連携をとりながら、安心して暮らしていける、優しさあふれる白井をめざしていきたい！まちサポとしても、今後サポートできることは何か、改めて考える機会になりました。

(座談会 6月14日)

団体活動出張レポート

ハートの会

白井市主任児童委員研修会にて
講師を務めました。
研修会テーマ「不登校のお子さんと
保護者の理解・支援について」



◇ハートの会 立ち上げのきっかけ

2010年、白井市適応指導教室(ヤングハートしろい)に通う子どもたちの保護者の方の‘新年茶話会’として集まったのが最初です。

◇いつもどんな活動を？

2018年からは、独立した団体として活動をしています。毎月第3土曜日にまちサポ会議室にて『親の会』を行っています。また、会場参加が難しい方、個人的にゆっくり話をしたい方には、場所と日時を決めてハートの会スタッフとお話できる『レンタル・ハート』を行っています。活動の中で大切にしていることは、『不登校の子どもを持つ親たちが、お互いのありのままを語り合い、聞き合うことで思いを共有し、支え合える場づくりをすること』だけです。

◇研修会の内容について

現在50歳までの引きこもりが、100万人を超えています。不登校対策をするほど、不登校は増えているとのこと。

7月14日(水)、ハートの会は主任児童委員研修会に招かれ、不登校のお子さんと保護者の理解・支援について、体験談を踏まえたお話をしました。「親は世間体を気にするのではなく、子どもを真ん中にして考えてほしい。そして生きていって、呼吸をしているだけでいいんです。」と代表の松本さんが優しく話してくれました。「不登校は特別なことではないんです。」と親の会担当の橋さん。「ひとりで抱え込まないでほしい。」と事務局の水崎さんが、それぞれ話してくれました。

◇手塚先生のコメント

「相談援助技術を基盤とした支援」

川村学園女子大学 手塚 崇子

ハートの会では、参加者のお話を只々、耳を傾けて話を聞く、話したい時に話す、アドバイス等は特にしないなどの姿勢を守りながら活動をされていると伺いました。この姿勢は、相談援助技術におけるバリエーションの7原則(①個別化、②意図的な感情表現の表出、③統制された情緒関与、④受容、⑤非審判的態度、⑥自己決定、⑦秘密保持)そのものでした。ハートの会の活動を伺い、改めて相談援助の原則の重要性を認識することができました。

◇主任児童委員～私たちは、あなたの地域の相談相手です～

主任児童委員は、児童問題が起こったとき市の関係機関などと協力し、速やかに連絡を取り合うなど、市のパイプ役として活動しています。学校訪問、幼稚園、保育園等との懇談会開催。子育て支援センターでの子育て相談「ほっとハート」も行っています。

◇取材を終えて◇

お子さんが不登校だったという経験をされた保護者の方から貴重な話を聞くことができ、また、「ハートの会の活動を知ることができて、今後自分たちの活動に活かしていきたい！」と主任児童委員のみなさんが話してくれました。ひとりじゃないよ！そんなメッセージをみんなで送り続けられたらと思いました。ありがとうございました。

(取材 7月14日)